

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通心

B U N K A T S U S H I N

2019春 No.101



歳月が茶室を仕上げる

数寄屋の名工木下孝一棟梁が茶室を完成させた時に、
後35年くらい経てば、とりあえず完成かなあとおっしゃった。
それから20年の時が流れて、沢山の茶会を体験したが、まだ道のりは遠い。

- 文化通心——四半世紀の軌跡——
- Webサイト「おいでまい香川」開設
- 3月から5月までの茶華道情報／財団からのお知らせ

発行：公益財団法人 中條文化振興財団
〒760-0017 高松市番町2丁目1番12号
TEL (087) 826-3355 FAX (087) 826-2212
2019年春号 No.101 3月1日発行(季刊)

平成五年の十月に設立された中條文化振興財団が、設立当初より発刊の機関紙『文化情報』は、いよいよ通刊101号となりました。改めて、その全部を並べて観ると四半世纪の時と感謝を感じます。

平成九年には、活動拠点となる茶室が完成し、『文化通心』と改めて、茶の湯を中心に讃岐の文化を応援する体制となりました。

財団を創設した中條晴夫は、百四銀行在職中の五〇年以上前から文化財団の設立を志しました。経済がグローバル化する環境においては、伝統的文化がより大切になるという信念を持っておりました。文化ベースにしたアイデンティティを大事にして欲しいというのを願つておりました。

伝統や文化は、過去の遺物とかではなく、常に新しきを積み重ね、時代を超えて残されてきました。伝統的な数寄屋の技術を継承した財団の茶室は、お茶に限らず、文化の交流の拠点としてご利用いただきたいと考えております。

財団は、貸し茶室の運営を中心活動して参りましたが、これから時代に即応した運営を、常に模索しております。今後とも多くの皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

四半世紀の軌跡



32号 2001年(H13)12月	31号 2001年(H13)9月	30号 2001年(H13)6月	29号 2001年(H13)3月	28号 2000年(H12)12月	27号 2000年(H12)9月	26号 2001年(H12)6月
39号 2003年(H15)9月	38号 2003年(H15)6月	37号 2003年(H15)3月	36号 2002年(H14)12月	35号 2002年(H14)9月	34号 2002年(H14)6月	33号 2002年(H14)3月
46号 2005年(H17)6月	45号 2005年(H17)3月	44号 2004年(H16)12月	43号 2004年(H16)9月	42号 2004年(H16)6月	41号 2004年(H16)3月	40号 2003年(H15)12月
52号 2006年(H18)12月	51号 2006年(H18)9月	50号 2006年(H18)6月	49号 2006年(H18)3月	48号 2005年(H17)12月	47号 2005年(H17)9月	
57号 2008年(H20)3月	56号 2007年(H19)12月	50号 2006年(H18)6月	55号 2007年(H19)9月	54号 2007年(H19)6月	53号 2007年(H19)3月	
64号 2009年(H21)12月	63号 2009年(H21)9月	62号 2009年(H21)6月	61号 2009年(H21)3月	60号 2008年(H20)12月	59号 2008年(H20)9月	58号 2008年(H20)6月



71号
2011年(H23) 9月

70号
2011年(H23) 6月

69号
2011年(H23) 3月

68号
2010年(H22) 12月

67号
2010年(H22) 9月

66号
2010年(H22) 6月

65号
2010年(H22) 3月



77号
2013年(H25) 3月

76号
2012年(H24) 12月



82号
2014年(H26) 6月

81号
2014年(H26) 3月

75号 2012年(H24) 9月
財団設立20年の節目で、設立時の写真を掲載した。「文化は人なり」という思いが、設立の動機だった。



89号
2016年(H28) 3月

88号
2015年(H27) 12月



100号 2018年(H30) 12月
設立から四半世紀が過ぎ、新しい時代の到来を予感する。伝統文化を改めて学び、伝える人が増えている。



春の声が聞こえてきました

今年もそろそろ梅の咲く時期になりました。梅といえば鶯（うぐいす）。「春告鳥」という別名も素敵ですし、鳴き始めのホケホケ下手くそなのが愛らしいですね。実際にその声を聞くのはもう少し先になりますが、和菓子屋さんでは「鶯餅」が並び始めました。

鶯餅（うぐいすもち）は、餡を求肥などで包み、丸く包んだものを楕円形にし、左右に引っ張りうぐいすの形にした和菓子です。そのかわいらしい姿を模した和菓子が「うぐいす餅」です。春を感じさせるお菓子ですね。

一般的にはうぐいす粉（青大豆からできたきな粉）をまぶして仕上げることが多いのですが、最近ではよもぎを混ぜた生地で包んだり、仕上げにきな粉をまぶすものもあるようです。

うぐいす餅の由来に、天正年間（1580年代）の頃、大和郡山（現在の奈良県大和郡山市）の郡山代の城主であった豊臣秀長が兄の豊臣秀吉を招いた茶会を開く際に「珍菓を造れ」と命じ、御用菓子司であった菊屋治兵衛が餅をつくり献上しました。秀吉はその餅を大いに気に入り「以来この餅を鶯餅と名付けよ」と命名したという説があります。秀吉の目に、鶯がどんな風に映っていたのか興味深いですね。



お茶の風景（3）

置水屋

茶室に付属して茶事の準備や片付けまでの必要な道具を整えるところを水屋といいます。客と亭主との一期一会のひととき、一椀の茶に集約される亭主の心入れを用意する場所は、単に、茶室の裏方だけでなく、精神的にも作業的にも大きな役目を担う空間です。

規模は棟を別にしたものから座敷廊下の一隅にしつらえたものまでいろいろですが、置水屋という簡単なものもあります。

袋戸棚の下は引き戸の室。茶碗を置く棚や茶器用の吊棚を設け、杓や茶筅、茶巾用の竹釘を打ち、手指を置く床は竹の簀子、流した水は下側の引き出しに溜る仕掛けで、何より移動の便利な使い良さで、ちなみに、上水道が整っていなかつた頃には水を売り歩く水屋が往来したとか。ペットボトル入りの水が売り買ひされる今、自販機はさながら現代の水屋ですね。



財団行事予定（3月～5月）

3月

◆書道教室 毎月第1・第3金曜日 森本義人先生
3月1日（金）・15日（金）午前10時～12時

◆懐石講座 三友居 山本勝先生
3月5日（火）午前11時・午後3時

◆和菓子講座 毎月第2金曜日 高橋初乃先生
3月8日（金）午前10時～12時

◆ヤングヤング（子供茶の湯教室）
毎月第2・第4土曜日 山下純子先生
3月9日（土）・23日（土）午後1時～

◆3月月釜 五人様茶会

日時 3月10日（日）

処 美藻庵 晴松亭（当財団茶室）

濃茶 武者小路千家 岡田和恵

薄茶 石州流讃岐清水派石州会 三野宗悦

会費 5,000円（濃茶・薄茶・点心）

入席時間ご案内（各席2時間15分を予定）

第1席 A席・B席 9時

第2席 A席・B席 10時30分

第3席 A席・B席 11時15分

第4席 A席・B席 12時45分

第5席 A席・B席 14時15分

◆月に1度の喫茶室 毎月第3火曜日

3月19日（火）午前10時～午後4時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。ランチは要予約です。

4月

◆書道教室 森本義人先生

4月5日（金）・19日（金）午前10時～12時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

4月12日（金）午前10時～12時

◆ヤングヤング（子供茶の湯教室） 山下純子先生

4月13日（土）・27日（土）午後1時～

◆月に1度の喫茶室

4月16日（火）午前10時～午後4時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。ランチは要予約です。

◆第5回 あ・うんの数寄 若人茶会と讃岐もの

4月27日（土）・28日（日）午前9時～

5月

◆書道教室 森本義人先生

5月3日（金）・17日（金）午前10時～12時

◆懐石講座 三友居 山本勝先生

5月7日（火）午前11時・午後3時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

5月10日（金）午前10時～12時

◆ヤングヤング（子供茶の湯教室） 山下純子先生

5月11日（土）・25日（土）午後1時～

◆月に1度の喫茶室

5月21日（火）午前10時～午後4時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。ランチは要予約です。

4月より
スタート予定

『おいでまい香川』は

スマホに対応した香川のイベントカレンダーです

はじめに

平成の時代に財団の設立25周年を迎え、この間に大きく時代が変化しました。高齢化社会が現実になり、仕事の環境や社会的な意識も新しい価値観の中で変わろうとしています。

さて、長らくご利用頂きました弊誌『文化通心』のイベントガイドは、香川県内の公的なホールや美術館などを中心に、できるだけたくさんの情報を一覧にしてきました。各機関の広報のご担当者の皆様には、いつも情報をまとめて頂きありがとうございます。

イベントガイドを最初から見ていきますと、当初は3ヶ月分の情報が一覧出来て、メディアの方々にも、取材の計画がしやすくなったと喜んで頂きました。

掲載量は季節によっても違いますが、年々その数が増えて、文字の大きさも、年々小さくなり、ご不便をかけする事態に、苦慮して参りました。

時代の変化に合わせて

この四半世紀は、パソコンが文字通り個人に普及した時代です。最近では、パソコンがスマートホンに変わり、誰もが日常的に情報を検索したり、発信できる便利な時代になりました。

しかし検索には、まだちょっとしたコツが必要です。たとえば、情報に行きつく前にいろんな広告が入ったり、必要な情報に行きつくまでに乗り越えるべき壁のようなものがあります。また、全てのイベントを網羅するというのは、簡単なことではありません。

新しい香川のイベントカレンダー

『おいでまい香川』は、できるだけダイレクトに香川のあらゆるイベント情報にアクセスできるようにしたいと考えました。財団が香川の様々なジャンルの文化活動を応援するために実施する新しい仕事のひとつです。

使い方のイメージは、最初の画面のカレンダーを指示すると、その日にある香川でのイベントがすべて網羅されます。さらに、ジャンルごとに絞り込みなども出来る感じです。

また、イベント自体の詳しい情報や、連絡先なども網羅できるようにしたいと考えています。データーの入れかたによっては、出演者の名前から検索することもできます。

そして、情報の仲介役として、検索から予約や問い合わせをどこにすればいいのかまで、わかりやすく見えるようにしたいというのが、大まかな主旨です。

皆様のご協力で完成します

もちろんこれは、一気にそういう便利なものが完成するわけではありません。まずは、実験的にこれまで情報のご提供を頂いた皆様からのデーターをより詳しく掲載させていただきます。

次に、これまでなかった音楽、演劇、ライブハウス、各種パフォーマンス、イベント、フェスティバル。各地域のお祭りなど、それぞれの主催者の皆様から直接情報を頂いて初めて完成するものとなります。

多くの主催者の皆さんは、まだまだチラシをこまめに配布して、新聞などのメディアにお願いして、集客には苦労されています。もちろんそれは大事なことですが、県外の方にはなかなか目にする機会はありませんし、主催者の身近な所での宣伝になりがちです。財団の主催のイベントなどでも同じ悩みを長い間経験してきました。

ネットは便利と言っても、利用されなければ何の意味もありません。財団は情報の検索をより使いやすくするために努力をしていきたいと考えていますので、できるだけ多くの皆様にご協力いただけたらと願っております。よろしくお願いします。



(一財)小原流高松支部**TEL (087) 845-5651**

3/23~24 いけばな小原流高松支部東地区展
花と遊ぼう!! ~源平の里から~
高松テルサ 無料 10:00~17:00(最終日は16:00迄)

表千家同門会香川県支部**TEL (087) 845-4638**

3/3 第13回茶の湯文化にふれる市民講座
講師:塗師 川端近左
高松市生涯学習センター 無料 12:00~15:30

4/28 中讃春秋茶会 席主:富田宗穂
丸亀市生涯学習センター 600円 9:00~15:00

香川大学表千家流茶道部**TEL 090-5917-1085**

3/17 月釜 龍光塾 500円 10:00~14:00
4/21 月釜 龍光塾 500円 10:00~14:00
5/19 月釜 龍光塾 500円 10:00~14:00

琴平月釜茶道会**TEL (0877) 58-9551**

3/10 琴平月釜茶道会 席主:田中宗武(裏千家)
松尾寺 500円 9:00~15:00

茶道裏千家淡交会香川支部**TEL 090-4337-1280**

3/3 善琴分会 月釜 席主:山下宗由
樟蔭軒 500円 9:00~14:00

3/10 丸亀分会 月釜 席主:逸見宗饗社中
生涯学習センター 500円 10:00~15:00

3/10 善琴分会 月釜 席主:田中宗武
松尾寺 500円 9:00~15:00

3/17 坂出分会 月釜 席主: A班(藤井社中)
勤労福祉センター 500円 10:00~14:00

3/24 観音寺分会 利休忌 席主:観音寺分会
総本山善通寺 2,160円 10:00~15:00

4/29 観音寺分会 若葉茶会 席主:観音寺教授者
琴弾公園浴日館 無料 9:00~14:00

5/4 丸亀分会 お城まつり茶会 席主:田中宗悦
生涯学習センター 500円 10:00~15:00

5/12 坂出分会 バラ園茶会 席主:坂出分会
番の州公園バラ園 300円 10:00~15:00

5/19 坂出分会 月釜 席主:多田宗雪
勤労福祉センター 500円 10:00~14:00

茶道裏千家淡交会高松支部**TEL (087) 841-0605**

4/7 淡交会高松支部 月釜 席主:岡宗扶
大西・アオイ記念館
前売600円・当日700円 9:30~15:00

6/2 淡交会高松支部 月釜 席主:田井宗隆
大西・アオイ記念館
前売600円・当日700円 9:30~15:00

茶道石州流琴松会**TEL (087) 888-5311**

3/10 大西・アオイ花茶会 席主:茶道石州流琴松会
大西・アオイ記念館
前売700円・当日800円 9:00~15:00

石州流讃岐清水派石州会**TEL 090-2826-9229**

3/17 玉楮象谷忌茶会 席主:植田宗弘
玉藻公園披雲閣 1,000円 9:00~15:30

4/21 創立82周年記念茶会
席主:土居宗美社中、石原宗幹・大西宗保・
嶋崎宗代・星野宗絹・地下宗利社中
玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:00

6/9 栗林公園 月釜 席主:坂東宗美
掬月亭 600円 9:00~15:00

茶道石州流宗家**TEL (087) 881-2858**

5/3~4 たかまつ春のまつりフラワーフェスティバル
席主:久保宗照 中央公園 450円 10:00~15:00

5/5 玉藻公園一般開放記念 席主:久保宗照
玉藻公園 400円 10:00~15:00

東讃茶道懇話会**TEL (087) 898-0391**

3/10 月釜 席主:表千家流 古賀敬子
池戸西徳寺 600円 9:00~15:30

4/7 月釜 席主:石州流 山崎可寿子
池戸西徳寺 600円 9:00~15:30

武者小路千家香川官休会**TEL (087) 851-2258**

3/3 香川官休会月釜 席主:西村純子
無量寿院 600円 9:00~15:00

3/16 象谷茶会 席主:香川官休会
披雲閣楳の間 1,000円 9:00~15:30

4/14 栗林公園月釜 席主:西村純子
掬月亭 700円 9:00~15:00

4/21 栗林ライオンズ茶会 席主:香川官休会
掬月亭 1,000円 9:00~15:00

5/12 香川官休会月釜 席主:古市千秋
無量寿院 600円 9:00~15:00

高松市香南歴史民俗郷土館**TEL (087) 879-0717**

3/17 由佐城月釜茶会
席主:鶴尾明美(煎茶道三癸亭賣茶流 鶴尾房子社中)
第2研修室(和室) 500円 9:30~14:30

4/21 由佐城月釜茶会
席主:広瀬宗加(安部流高橋宗初社中)
第2研修室(和室) 500円 9:30~14:30

5/19 由佐城月釜茶会 席主:高畠宗穂(裏千家)
第2研修室(和室) 500円 9:30~14:30

中條文化振興財団**TEL (087) 826-3355**

3/10 3月月釜 五人様茶会 5,000円
濃茶:武者小路千家 岡田和恵
薄茶:石州流讃岐清水派石州会 三野宗悦
以上の茶会はいずれも点心席を含みます。
詳細は、財団行事予定をご覧ください。

4月27日、28日 開催 第5回 若人茶会と讃岐もの

今年も玉藻公園の披雲閣を舞台に開催させて頂きます若人茶会は、高校生を中心とした、若い茶人のお茶会です。讃岐ものは、香川の伝統工芸を体験して顶くイベントで、どちらも気軽にご参加頂けます。

今回は特に、大書院で開催される伝統工芸士等の体験型ワークショップの会場には、どなたでもお入り頂けるよう、入場を無料といたしました。また、お茶席の当日券を用意しておりますので、まずは、玉藻公園においでください。



「晴友会」更新のお知らせ

友の会「晴友会」の更新時期が参りました。

更新をご希望の方は同封の郵便振替用紙にて年会費3,000円をお振込み願います。

期間

2019年4月1日～2020年3月31日
※H30.12月以降ご入会の方は除く

茶会とワークショップの日程

4月27日(土)

- 武者小路千家官休庵青年部香川支部
- 庭師竹萌会と若竹会(裏千家)
- 寒川・長尾小学校、わくわくチャレンジ(裏千家)
- 三友堂 大内英生(和菓子作り・ご自服体験)

4月28日(日)

- 高松商業高校茶道部(武者小路千家)
- 大手前高松中学・高校茶道部(石州流讃岐清水派)
- 三木高校茶華道部(裏千家)
- 高松工芸高校茶華道部(裏千家)
- 芝山 鈴木康成(和菓子作り・ご自服体験)

讃岐もの(基本的に両日)

- ツムギ(保多織コースター)
- 香川県漆芸研究所
- 和洋盆栽ショップ ratelgreen(盆栽)
- 山西商店(志度桐下駄／お守り豆下駄)
- 香川県うちわ協同組合連合会(丸亀うちわ／割り他)
- 宗家後藤盆(後藤塗／しおり)
- 紀太理平(理平焼／湯呑・茶盤・箸置き他)
- 大井建具店(組手障子／箸置き・コースター)
- 香川大学学生プロジェクトTERASU(讃岐提灯／折提灯)
- 豆花(菓子木型／干菓子作り)※27日のみ
- 讃岐かがり手まり保存会(巻きまり他)※28日のみ

● 連載「くにもの」出版のお知らせ



財団の機関誌・文化通心に連載してきたコラム「くにもの」が一冊の本になりました。茶道具の世界で中国大陸や朝鮮半島からの舶来品「からもの」と区別した国産品「くにもの」に倣って、茶道具や文化財など、背景を含めた郷土讃岐のご紹介でしたが、上梓に際して、作者の妹尾共子さんがこれまで他紙に掲載したものや放送された関連の歴史エッセーを添えてまとめたものです。

財団広報活動の一環としての発行で、販売は定価1,200円で財団事務局(087-826-3355)又は、妹尾(090-7572-7161)でお受けしています。是非、ご一読いただきたくご購入のほどよろしくお願ひします。

TEL(087)826-1335
FAX(087)826-2121
info@chujo-zaidan.or.jp

〒760-0017
高松市番町二丁目一一一二
公益財団法人中條文化振興財団編集部

〔声・情報お寄せください〕

ペーパーレス化へと、また、活字離れへと進みつつある今日、印刷物となつて残されている物の大切さを本号の編集を通じて教えられました。これからも地域の伝統文化の掘り起しや発展のため、情報発信のためにこの通心が役割を果たせるように取組んでまいります。

文化通心も百一号の発刊となりました。季刊誌として二十五年経つことになります。財団の設立記念、茶室の完成記念、また節目ごとの企画号など昨日のことのようと思ひ起こされます。財団の歩みをよくご存知の方々は、本号をご覧になると思い出話に花を咲かせることでしょう。そして、まだご存知いただけてない方々には、この機会に当財団に関心をお持ちいただければ幸いに存じます。

編集後記